

公益財団法人日本水泳連盟

認定OWS大会

仕様書

平成29年度(2017)版



公益財団法人日本水泳連盟 OWS委員会

目的



1) 強化の推進: 多様なレース環境の創出

⇒ 多様なレース環境を通じた実戦強化

⇒ 全国規模の選手・指導者発掘網の構築

2) 普及の促進: 認知度と安全性の向上

⇒ 認知度向上の全国展開

⇒ 全国規模の審判員・競技役員の養成

3) 市場の拡大: 競技人口および大会数の拡大

⇒ スケールメリットを活用したスポンサーの獲得

⇒ 地域振興・活性化への貢献

条件



- 1) 主催者が公的機関・組織であること
- 2) 日本水泳連盟が「後援」であること
- 3) 加盟団体が「主催」、「主管」、「後援」のいずれかであること
- 4) 加盟団体が日本水泳連盟宛てに所定の『後援申請』および『認定申請』を事前に提出すること
- 5) 定められた競技運営を実施すること
- 6) 定められた種目を実施すること

定められた競技運営



- 1) 日本水泳連盟『OWS競技規則』を原則とすること
- 2) 日本水泳連盟『OWS競技に関する安全対策ガイドライン』の遵守を原則とすること
- 3) 競技役員に、日本水泳連盟OWS競技・公認審判員
および日本水泳連盟OWS委員会セイフティ・オフィサー
(安全担当員)を含むこと
- 4) 原則として日本ライフセービング協会(JLA)の有資格者(ベーシックサーフライフセーバー)がいることが望ましい

定められた実施種目



1) 「5km」と「5km未満」のいずれか、または両方を実施

* 既存認定大会はこの限りでない

2) 「5km」の男女各上位3名に『OWS日本選手権』の出場権を付与

* 「2016年度日本選手権水泳競技大会OWS競技8位以内」で参加資格を得ている選手を除く

※ 日本水泳連盟OWS強化事業として上記該当選手を派遣出場させるため

* 日本水泳連盟競技者登録者(2017年度)に限る

* 「5km」を実施しない既存認定大会は、最長距離種目に出場権を付与する

* 出場権付与種目を「日本選手権大会トライアルの部」と称することができる(任意)

3) 原則として、「500m以上または15分間以上の集団泳(OWS検定5級)」、または親水イベント(形態不問)を実施



平成29年度 (2017) サーキットシリーズ



* 大会名称は簡易表記





平成29年度 認定OWS大会

第1戦(平成29年6月4日):静岡お茶OWS(静岡)

第2戦(平成29年6月18日):南紀田辺・扇が浜OWS(和歌山)

第3戦(平成29年6月25日):中海OWS(島根・鳥取)

第4戦(平成29年7月1日):屋久島OWS(鹿児島)

第5戦(平成29年7月16,17日):館山OWS(千葉)

第6戦(平成29年7月30日):尾鷲OWS(三重)

第7戦(平成29年8月6日):佐渡OWS(新潟)

第8戦(平成29年8月20日):琵琶湖・長浜OWS(滋賀)

第9戦(平成29年8月26,27日)ひめじ家島OWS(兵庫)

第10戦(平成29年8月26,27日)湘南OWS(神奈川)

第11戦(平成29年10月1日)せとうちOWS(岡山)

第12戦(平成29年10月29日)すさきOWS(高知)

赤字の4大会は本年度よりの新規大会になります。

平成29年度(2017) 公益財団法人日本水泳連盟 認定OWS大会一覧

